



【CLUB OFFICE】 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

今月の聖句

「彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは私の足もとに座って、その話に聞き入っていた。マルタは、いろいろのことで悩むためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせているのですが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」」
ルカによる福音書 第10章 39～40節

会 長 / 山 口 雅 也
副会長 / 香 山 章 治
内 田 雅 彦
書 記 / 瀨 本 純 夫
西 川 欽 一
会 計 / 西 村 融 正

クラブ主題

熱く交わそう！ ワイズの友情 —キャピタル30周年に向かって—

- 国際主題：IP Philip Mathai (インド) “Be the light of the world” 「世を照らす光となろう」
- アジア主題：AP Oliver Wu (台湾) “Years bring wisdom” 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
- 西日本区主題：RD 成瀬晃三 (名古屋) “Let Y'smen Light Shine before Others in the club, in the community, in the world” 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
- 京都部主題：DG 船木順司 (京都トッパス) 「出あい」「ふれあい」「磨きあい」
- メネット主題：RSD 野村靖子 (名古屋東海) 「愛と奉仕の継承を」～メネットのやさしさを奉仕のすみずみまで～

ワイズに於ける交流事業って何？



交流事業委員長 柳 慎 司

今期交流委員長をさせて頂き、10月に「交流事業アンケート」を実施させて頂きました。アンケート実施の主旨は、キャピタルクラブが次期設立30周年を迎えるにあたり、クラブ内の活性化を図ると共に「新たな交流」を求めての事です。

現在当クラブでのDBC締結は東西日本区として分割後に初として東京クラブと締結をさせて頂き毎年交互に訪問させて頂いており、IBC締結は釜山ベゼルクラブと交互にクラブ訪問し、20年来のお付き合いをさせて頂いておりますが、来る30周年の記念事業の一つとしてなり得るかの思いを抱きアンケートを実施し、全メンバーに問い掛けてみました。結果として、色々な課題ありの意見を頂きましたが、大半のメンバーより、「新たな締結」を求める声が聞けました。只今当クラブは、IBC締結候補先については、Taiwan・Philippines・Southeast Asiaと地域希望を出して検討しております。地域限定にさせて頂いた理由は実際に交流事業として、相互クラブ訪問を考えた場合、比較的隣諸国が良いと判断したからです。

DBC締結候補先については、九州部とさせて頂きました。理由としてはまず、東日本区内では既に締結済である事、西日本区内では締結しておりませんので一番の遠方の部にも関わらず、新幹線で比較的手軽に行くことが出来るようになったからです。ワイズに於ける交流事業とは、私が思うに締結先クラブ

と協力しあってクラブでの新たなYMCAへの支援・奉仕活動をするというような崇高な目標は大切ですが、まずは交流から始まり、親睦を楽しむ事と思います。その後が良い試案が出てくると思います。

ワイズに入会すれば、兄弟クラブとの交流事業があり、色々なメンバーの方々と楽しくお付き合い出来る、諸外国とも交流出来る、家族ぐるみで旅行も出来る、年齢に関係なくお付き合いも出来る、先輩とプライベートな相談も出来ます。しいては、仕事にも視野が広がるかも知れません。ワイズの交流って魅力一杯です。

他クラブを訪問すると「こんな考え方もあるんだ……」等々勉強させて頂く事がありますが、数多く交流し親交を深めるのも、クラブとしても大変意義のある事だと思います。

現在会員数減少の中、広報事業でワイズでの交流事業の魅力伝えて頂き、メンバー増強のアイテムの一つとしてEMC事業と協働する事がワイズに於ける交流事業と思います。

「楽しく無ければクラブじゃない」この思いが無ければ、クラブは衰退化する一方です。私事ではありますが、19年の在籍中、月2回の例会には無遅刻、無欠席にて只今当クラブ内では記録更新中です。だってクラブ大好き、メンバーとの親睦が大好きですから……人と人とのつながりが出来る事は私にとって最大の魅力であり、交流大好きワイズメンたる所以がそこにあると信じております。

さて、今年4月6日～7日に東京クラブとのDBC交流を京都で開催します。只今交流委員会では、「おもてなしの心」で企画検討をしておりますのでホスト側としてメンバーはもとよりメネットの方々にも多数ご参加を頂き、大いに親交を深め、交流事業の魅力だけにとどまらず、キャピタルクラブの魅力を是非知って頂きたいと思っております。

西日本区 強調月間

3月 EF・JWF

お祝いや記念日には幸せのお裾分け、感謝の気持ちとともに献金しませんか。エンダウメント基金(EF)は国際協会へ、西日本区ワイズ基金(JWF)は西日本区へワイズダム発展のためにご協力お願いします。
岡野泰和ファンド事業主任 (大阪土佐堀クラブ)

年間強調 目標PR

クラブ活動をブリテン・ホームページ・地域新聞などの様々な媒体を利用し、内外に幅広く活発な広報活動を行いましょう。
吉村秀喜広報事業主任(長浜クラブ)

2 月 報 告



例会出席

在籍者数 39名
第一例会 34名
第二例会 34名
出席率 97.4%



BFポイント

切手 239g
現金累計 30,000円
切手累計 6,904g
B F 献金 33,999円
J W F 0円
E F 0円



ニコニコ

第一例会 10,000円
第二例会 4,000円
累 計 168,330円
東日本大震災復興募金
第一例会 2,939円
第二例会 2,822円
累 計 38,341円



ファンド

大山ハム 3,100円
累 計 823,126円



献 血

献 血 0cc
成 分 0名
累 計 800cc
成分累計 0名



125周年
募 金

第一例会 3,374円
第二例会 3,401円
今期累計 45,611円
累 計 579,341円

T O F 例会

香山 章治

笠井俊明地域奉仕・環境事業主任をお迎えして、TOF 例会が行われました。定刻になり、会長挨拶の後、次期京都部役員委嘱状伝達式が執り行われ、次期京都部広報主査に八木悠祐さん、次期京都部メネット主査に柳早智子メネット(代理 柳慎司さん)に、会長から委嘱状が手渡され、抱負を述べられました。



グローバル20周年例会のアピール

その後、クラブアワードバナー新調のお披露目をメンバーの皆さんにした後、3月3日に行われる京都グローバルクラブ20周年記念例会のアピールに山本啓介様、紺谷昌丘様、二井徹様とYMCA リーダー2名がお越しになり、楽しくアピールをされました。TOF 例会ということで、食事はサンドウィッチとコーヒーのみの節食という形でTOFを行いました。

その後、笠井主任が「地域奉仕事業について」という題目で講演され、CS 献金・TOF・FF・東日本大震災復興支援・ロールバックマラリアについて、ま



小久保文恵さん
(ほむリーダー)



岡 美香子さん
(くりんリーダー)

ずはその意味を理解した上で献金をして欲しいということ、それぞれの内容をわかりやすく説明していただきました。お陰様でメンバーの皆様も頭の中がしっかり整理されたことと思います。本当にありがとうございました。

自衛隊の皆様へ感謝

大門 和彦

10人掛けの5個の円卓がいつになくいっぱい埋まっている。それもそのはず、ゲストスピーカーに自衛隊京都地方協力本部長の岩名誠様をお迎えし、メンバーゲストが4名、YMCA リーダー2名の参加を頂いたからだ。来期30周年を迎えるメンバー意識の高さの表れでもあるのだろう。



ゲストスピーカーの岩名誠様

講演では、「東日本大震災」の最前線で活躍した自衛隊の岩名様の話にメンバーも真剣に耳を傾けていた。地震、津波、原発、が同時に重なった災害は前例がなく派遣された隊員数も過去最大！陸路が寸断され、近隣の駐屯地も被災し、上空からの救助だけが頼りだったそう。しかし、人命救助に必要な72時間のタイムリミットも迫っている。そのような中であって昼夜を問わず救助が行われ1万9千人を救助された。

原発でも被爆を恐れず最前線に立って活躍された話や映像には我々が知らない場面も多く深く感激した。日本のために国民のために、命を懸けて戦っている自衛隊の方々に敬意を表したい。「ありがとう」

講演では、「東日本大震災」の最前線で活躍した自衛隊の岩名様の話にメンバーも真剣に耳を傾けていた。地震、津波、原発、が同時に重なった災害は前例がなく派遣された隊員数も過去最大！陸路が寸断され、近隣の駐屯地も被災し、上空からの救助だけが頼りだったそう。しかし、人命救助に必要な72時間のタイムリミットも迫っている。そのような中であって昼夜を問わず救助が行われ1万9千人を救助された。



朽木慎太郎さん
(にょるにょるリーダー)



河島めぐみさん
(アルトリーダー)

京都 YMCA 創立 124 周年記念会員集會に参加して

「若者が育ち、関係性豊かなコミュニティを目指して」

日時：2月9日(土) 18:00 ~ 20:30

場所：京都 YMCA マナホール

講師：西村仁志 広島修道大学人間環境学部准教授
(元京都 YMCA 職員)

大山 悠子

124周年を迎える京都 YMCA にとって、ぴったりのテーマを掲げての西村仁志氏の話に期待して興味をもって参加致しました。

ご自身の今日までの歩みをふりかえりつつの自己紹介はそのままテーマへのアプローチでもありました。

『一般社会で発生する諸問題を見出し、批判や反省に留まることなく、自らの関心と思いに基づいて解決するための次のステップを考え、実践へつなげていく。』そのことが個人的な業績にとどまることなく、その地域に定着していくプロセスは社会革新のひとつの手法として評価できるということでした。地域での関係性豊かなコミュニティを創る実践への取り組みとしてもいくつか紹介されました。その中には京都 YMCA が関わっていきそうだなと思うプログラムもありました。

京都 YMCA は、その使命に謳われているように、『地球的な視点から望ましい環境の実現、いのちあるすべてのものごとにも生きる平和な世界を築く運動を目指しています』。

多くの先人たちの祈りと労苦によって今日ある YMCA に関わっている我々会員に何が出来るのかを求めていきたいと思われ集會でした。企画された活動推進委員会に感謝申し上げます。

国際協力フェスティバル 開催!

五十嵐 由紀

2月3日(日)11時から、京都 YMCA にて「国際協力フェスティバル」が開催されました。キャピタルクラブからは、「世界の料理」コーナーで美味しいカレーを出展して下さった「ケララ」の特別メネット 正子・ダルマパーランさんを中心に数名がお手伝いをしましたが、周りにも韓国・フィリピン・中国などの名物料理が並んでいて、準備の段階から皆さん(特に私!)は興味津々のようでした。

そのほか会場では、ステージパフォーマンスが行われ、恒例のフラダンスや小学生のヒップホップダンス、ミャンマーからの留学生による民族舞踊などが披露されていました。

さらに、バルーンアートなどが楽しめる「キッズ広場」、新鮮な野菜などの「物品販売」、餅つきや着付けなどを体験できる「文化体験」コーナーなども展開されていました。

お陰様でカレー70食がいち早く完売! YMCA にも14,000円お渡しできました。お手伝いのメンバーもお相伴にあずかり大満足のなか、解散となりました。

参加者

五十嵐、大山(謙)、大山(孜)、金原、神崎、菅原、竹田、西川、西村、正子・ダルマパーラン、八木、山口(弘)、山口(雅)、山田(英)



そのとき あなたの歴史は動いた

強制的に水泳部に入れられて

金原 弘明

振り返ると人生のターニングポイントとも言うべき出来事はいくつかある。その中で、今思い出せる人生の最初のターニングポイントは小学校低学年の時の出来事だ。

私は小学校3年生までは、とても体が弱い子だった。全校集会で立っていると必ず気分が悪くなり倒れる子、給食の時間に居残りで食べさせられていた子、私は正にそういう子だった。

それを見かねてか、小学校3年生の冬に、学校の水泳部の冬練習に親に強制的に入部させられた。嫌で嫌でしたが、ご褒美に釣られて何とか練習に参加していたのを覚えている。どれ位の期間入部していたかは忘れてしまったが、プールで泳ぐ練習が始まる時には退部していた。

それをきっかけに、自主的に運動をするようになり、全校集会でも倒れることなく、高学年の頃には、給食もおかわりに率先して並ぶ子になっていた。私の学生時代の殆どの思い出はラグビーで占められているが、そういう思い出をつくることのできたのは、この出来事のおかげだと、今でも親に感謝している。

中学受験とキャピタルクラブに入会して

瀬本 純夫

去年50歳を無事に迎えることができながらも、それまでの大きなターニングポイントという事を余り考えたこともなかったように思います。一番最初と言えば、小学校の友人たちと塾に通うようになり、中学受験をしたことになるでしょうか。そこでの出会いは卒業して30年以上たっても続いております。

卒業後は実家の仕事につき、何ら不満もなく平穩(?)に過ごしており、ただ、仕事をして、たまに友人と遊びに出かけるそんな日々でした。何か物足りなさを感じながらも何があるのかもわからなかった生活でした。

そんな時、15歳の時にクラブの先輩として出会った方に、39歳となっていた私に『自分はなんかクラブに入っているか。なんも入ってないなら、おもしろいクラブがあるけど、どうや』とお誘いをいただきました。月二回、ホテルで食事をし、出会うことが出来ない人たちとも会える、そんな魅力的なお誘いだったと覚えております。これがキャピタルクラブとの出会いであり、入会のきっかけでした。その後は、仕事と家庭とクラブと、充実して過ごせるようになったと思います。受験から変わったであろう今を何とか元気に過ごしていきたいと思っております。

東日本大震災から2年

これまでそしてこれから

田中 博之

(東京クラブ)



あれから間もなく2年が経とうとしています。ワイズメンズクラブ東日本区では震災発生直後に支援対策本部を設置し、全国のワイズ、YMCA関係者のご協力をいただき、いち早く食料、衣料、乾電池等の緊急

支援物資を被災者救援活動中の仙台YMCAに届けることができました。公共交通機関が途絶し、東北自動車道も閉鎖されている中、東京YMCA妙高高原ロッジを集積基地にし、仕分け作業の後、新潟、会津経由で7時間余りをかけて、繰り返し搬送しました。

以来、各部、各クラブでは炊き出し、街頭募金を中心とする募金活動(東日本区に拠出された献金は海外からの分も含めこれまでの累計で2,200万円を超えました)、チャリティーコンサート、仮設住宅や高齢者施設でも「歌声」の出張開催等、それぞれの特徴を活かした様々な支援活動が行われています。京都キャピタルクラブを始めとする西日本区のクラブも募金、被災地訪問など様々な取組みを繰り返し広げられていることに深い敬意を表します。

今年2月7日の時点で未だ31万5千人の方々が避難生活を余儀なくされ、また、2千7百万トンに上る災害廃棄物、津波堆積物の内、最終処理が完了したのは27%に過ぎません。復

興が進んでいる漁港以外の被災地は、何もない無人の荒野が見渡す限り広がっています。

大震災発生後に発足した多くの支援活動ボランティア団体が当面の役目を果たしたとして活動を終えていっている今、継続的な組織とマンパワーを持ち、永年培われた奉仕の精神に満ちた私たちが、これからも持続的に被災者支援活動、復興支援活動を行っていくことが私たちに与えられた役割と思えます。

仙台、宮古、石巻でYMCAはその地に根ざした着実な活動を行っていますが、YMCAを支援することを第一の目的とする私たちは、まずはこれらのYMCAの働きを支援することが最大の務めです。そしてその支援は、無理なくしかもワイズらしい形、方法での支援が望まれます。

お金のあるクラブは財政的支援を、若い人たちの多いクラブはその体力を用い、あるクラブは知恵や特技を出してと、クラブの状況や得意分野に応じたバリエーションがあつてしかるべきだと思います。ちなみに東京クラブではこれまで、募金活動のほか、仮設住宅での「餅つき」をスポンサーしたり、音楽の得意なメンバーが被災地の施設で唄ったり、楽器を演奏したりなどの活動を行ってきています。また、これまでも幾つかの例が見られますが、私たちが全国、全世界に広がる組織であることを活用して、IBC、DBCで協力し合つての支援も考えられます。

東日本大震災発生時のときの両区の理事が仁科保雄さんと東京クラブの松田俊彦さんであったという縁もあります。何か両クラブで共にできることがないか考えてみませんか?

マザー・テレサの言葉にあるように、私たちは微力であっても決して無力ではありません。

(2011.3～2012.6 東日本区・東日本大震災支援対策本部統括)

訃報

成瀬晃三西日本区理事が2月25日に急逝されました。

21日から開催された、マレーシアでのアジア地域年央会議に出席され、25日の朝に帰国されたばかりでした。

ご冥福をお祈りいたします。

チャリティーボウリング

クラブ(団体)賞 3位入賞!

2月24日(日) 於:しょうざんボウル



参加者

五十嵐、石倉、亀井、香山、倉見、菅原、西川、西村、八木、柳、山口(雅)

メネット

石倉、香山、八木

コメント

石倉、亀井、八木(2名)

HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	香山 章治	3月11日	松井 陽子	3月13日
		勝山廣一郎	3月23日	岡本 尚男	3月31日
メ	ネット	森 絹代	3月3日	吉井 香月	3月13日
		香山 慶子	3月16日	倉見 享子	3月23日
コ	メット	亀井 春菜	3月7日	亀井 陸矢	3月22日
		倉見航太郎	3月30日	竹田 睦子	3月31日

HAPPY ANNIVERSARY

金原 弘明・康 代	ご夫妻	3月5日
山田 英樹・とも子	ご夫妻	3月20日
竹田 博和・倫 子	ご夫妻	3月25日
山口 恵・誠	ご夫妻	3月26日
大山 孜郎・悠 子	ご夫妻	3月31日

聖句の解説 携帯電話やパソコンのメールは、匿名で意見をいやす環境を産みました。

しかし、人と顔を合わせなくなった分、他人とのコミュニケーション能力、特に人の話を聞く能力の低下は著しいと思います。

最近の子ども関連の悲惨な事件の多くを聞くと、子どもの心の叫びが聞こえないと悩む方もいるでしょう。

この癒しの時代、自分のことをわかってくれないと、一方的にメールを送る人は多いのですが、その人たちはどれだけ他の人の話に耳を傾けられるのでしょうか。

メールで世界が広がるのではなく、自分の気の合う、言葉が通じる、双方向の関係がcaろうじて保てる小さなボクたちのグループ、「クリスチャン」ならぬ「ワタクシ(私)チャン」ばかりが増えていきます。

必要なことは、イエスをもてなすことではなく、神の言葉を聞くことです。クリスチャンに必要なことは、「神に仕えること」、「隣人を愛すること」だけです。「貧しい人達は、お金や食べ物よりも、なによりもまず自分の気持ちを聞いてほしいと望んでいる。実際は何も言わない、声も出さないけど。だが、手を握り合い、肌を触れ合うと、彼らの声は聞こえるのだ。その言葉を聞く耳を持ちなさい。」(マザー・テレサ)

Information

以下の献金を2月13日に西日本区へ送金

Yサ献金	60,000円
C S献金	76,110円(お年玉切手分 24,280円 現金分 51,830円)
T O F献金	58,500円
F F献金	38,000円
B F献金	57,000円 使用済み切手 6,665g
R B M献金	38,000円

ご協力ありがとうございました。

会長 山口雅也

第8回 役員会議事録

2013年2月26日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 白川の閣

〈西日本区報告〉

- 西日本区次期会長・主査研修会 3月9日(土)・10日(日) チサンホテル大阪

〈京都部報告〉

- 京都グローバルクラブ20周年記念例会 3月3日(日) リーガロイヤルホテル
- 京都センチュリークラブ25周年記念例会 4月14日(日)
- 京都みやびクラブ20周年記念例会 4月27日(土)

〈YMCA報告〉

- YMCA卒業祝会 3月10日(日) 京都YMCA
- チャリティーゴルフコンペ 3月17日(日) 瑞穂ゴルフ倶楽部
- リトセン夜桜フェスタ 4月28日(日)

〈三役会報告〉

- 西日本区大会 4月第2例会にて申込み集約
- 欠席メンバーの件、YMCA会費の件報告

〈各事業委員会報告〉

- YMCAサービス・ユース事業委員会 通常例会リーダー招待の全日程終了/3月10日Yサアワー例会(卒業リーダー祝会)/5月19日かもがわチャリティアラン
- 地域奉仕・環境事業委員会 リトセン・メタセコイヤフェスティバルについて 開催日時:3月31日(日)10:30~ 参加費 大人(中学生以上)1,000円、小学生300円、小学生未満無料/2月24日 チャリティーボウリング大会の報告 参加人数 メン11名 メネット3名 コメント4名 計18名 団体3位入賞/CS・FF・RBM献金の報告
- ドライバー事業委員会 開催済例会の報告/今後の例会予定/3月Yサアワー例会・4月DBC合同花見例会の詳細
- 交流事業委員会 4月6日(土)東京クラブとの合同花見例会 開催時間 18時~20時/6日、7日の観光等スケジュールの確認/IBC・DBC締結への検討
- ファンド事業委員会 ファンド収益報告/BF献金の報告/3月以降のファンド 大山ハム、バウムクーヘン、古本・DVD
- 広報・ブリテン事業委員会 3・4月号骨子、原稿依頼、入稿状況の確認/4月号でYサ事業特集号6ページの予定/5月号交流及びメタセコイヤの特集を検討
- EMC事業委員会 例会出欠報告/欠席者に対するメールキャップの案内配信/3月1日 第4回誕生日会(招待出席者:10名の予定)/メンバーゲストについて 今後のゲスト予定・各委員会からの紹介状況確認

〈その他〉 委員会報告書等の提出期限 3月15日(金)

次回三役会 3月16日(土)19:00~ 於:わこん

次回役員会 3月19日(火)19:00~

於:ウェスティン都ホテル 竹の間

編集後記

近所の桜に赤みがかった堅い蒼を発見。寒い時期はどうしても下を向きがちですが、視線を上げてみると春の足音を至る所に発見。心躍ります。

広報・ブリテン委員長 長谷川幸昌

